

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教 科： 地理歴史 科 目： 世界史探究 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 1・2・5・6 組

使用教科書：（『世界史探究 詳説世界史』（山川出版社））

教科 地理歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目	世界史探究	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	●自然環境と人類の進化 ●文明の成立と古代文明の特質 ●中央ユーラシアと東アジア世界 ●南アジア世界と東南アジア世界の展開 【知識及び技能】 ・人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解する。 ・オリエント文明やインダス文明、中国文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解する。 ・秦や漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解する。 ・仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアと東南アジアの諸国家などを基に、南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・諸事象を捉えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目し、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現する力を養う。 ・文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現する力を養う。 ・東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目しながら、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、統治体制と社会や文化の特色、近隣諸国や周辺諸地域との関係などを多角的・多面的に考察し、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・世界史へのまなざしについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。 ・諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	○指導事項 世界史へのまなざし 自然環境と人類の進化 第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 ○教材 ・教科書 ・資料集 ・用語集 ・授業プリント ・問題演習ノート ・映像資料（ICT） ○単元ごとに行う評価活動 ・テスト ・グループワーク ・発表 ・リフレクションシート	【知識・技能】 ・人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解している。 ・オリエント文明やインダス文明、中国文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解している。 ・秦や漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。 ・仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアと東南アジアの諸国家などを基に、南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 ・諸事象を捉えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目し、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現している。 ・文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 ・東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目しながら、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、統治体制と社会や文化の特色、近隣諸国や周辺諸地域との関係などを多角的・多面的に考察し、表現している。 ・南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目しながら、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、統治体制と社会や文化の特色、近隣諸国や周辺諸地域との関係などを多角的・多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界史へのまなざしについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。 ・諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	39 (内 考 査 2 時 間)

2 学 期	●西アジアと地中海周辺の国家形成 ●イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 ●イスラーム教の伝播と西アジアの動向 【知識及び技能】 ・西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解する。 ・西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目しながら、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、統治体制と社会や文化の特色、近隣諸国や周辺諸地域との関係などを多角的・多面的に考察し、表現する力を養う。 ・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目しながら、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸地域へのイスラームの拡大の要因、西アジアや地中海周辺の社会の特徴などを多角的・多面的に考察し、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。 ・諸地域の交流・再編について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	○指導事項 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 ○教材 ・教科書 ・資料集 ・用語集 ・授業プリント ・問題演習ノート ・映像資料（ICT） ○単元ごとに行う評価活動 ・テスト ・グループワーク ・発表 ・リフレクションシート	【知識・技能】 ・西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。 ・西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 ・西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目しながら、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、統治体制と社会や文化の特色、近隣諸国や周辺諸地域との関係などを多角的・多面的に考察し、表現している。 ・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目しながら、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸地域へのイスラームの拡大の要因、西アジアや地中海周辺の社会の特徴などを多角的・多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。 ・諸地域の交流・再編について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	42 (内考 査2時 間)
-------------	--	--	---	---	---	---	------------------------

3 学 期	●ヨーロッパ世界の変容と展開 ●東アジア世界の展開とモンゴル帝国 【知識及び技能】 ・ヨーロッパの封建社会とその展開、宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目しながら、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、ヨーロッパの社会や文化の特徴、中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多角的・多面的に考察し、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸地域の交流・再編について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	○指導事項 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ○教材 ・教科書 ・資料集 ・用語集 ・授業プリント ・問題演習ノート ・映像資料（ICT） ○単元ごとに行う評価活動 ・テスト ・グループワーク ・発表 ・リフレクションシート	【知識・技能】 ・ヨーロッパの封建社会とその展開、宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 ・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目しながら、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、ヨーロッパの社会や文化の特徴、中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多角的・多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・諸地域の交流・再編について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	24 (内 考 査 1時 間)
							合計
							105